

地歴公民 (地理総合・地理探究)

名古屋大学 文学部、情報学部 (人間・社会情報学科) (前期) 1 / 2

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式

論述・記述・選択

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

2026年度の大問は3題で、出題分野は自然環境と地理情報、農業・水産業、都市についての設問である。2025年度は自然環境と人間生活、経済と環境、地球的課題であり、2025年度に扱われた地誌的な問い(カナダ・ナミビア・マレーシアの経済と環境)は出題されず、系統地理中心の出題構成となった。また、記述・選択式の問いが2025年度より減少した。

その他トピックス

2024年度、2025年度と続いて出題された制限字数のある論述問題が、2026年度は出題されなかった。2025年度は扱われなかった描図問題が2026年度に出題された。問題Ⅱ問5の mangrove 林の役割については、2026年度第1回名大入試オープンでも扱った。問題Ⅲ問3(ニュータウンの特徴)は、同大学2004年度でも、同じ図を用いて出題されている。

<大問分析>

| 番号 | 出題形式 | 出題分野・テーマ | コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど) | 難易度 |
|----|----------------|------------------|---|-----|
| I | 記述 論述 | 自然環境と地理情報 | 問1では地理院地図を用いて、(1)図に示された小地形の名称、(2)発生しやすい自然災害が問われた。(3)では集水域の描図問題が扱われた。問2では二つの統計地図を用いて、(1)図の表現方法の特徴や(2)図で読み取れる内容の違いの説明が求められた。 小地形や自然災害、統計地図などに関する基本的な出題であり、教科書の基本知識をもとに解答を作成したい。 | 標準 |
| II | 論述 記述 選択 | 日本と世界の農業 や水産業 | 問1では世界の地域別生産量割合の図をもとに三大穀物の地理的特徴、問2では日本における都道府県別の植土工場の数を示した図をもとに日本の植土工場の立地と特徴の説明が求められた。問3と問4では水産業が扱われ、問3では、日本の漁業生産量の推移を示した図をもとに、(1)漁業形態の判定、(2)漁業従事者が最大の漁業形態の選択、(3)A 遠洋漁業が1970年代以降に低下した理由説明が問われ、問4では世界の漁業・養殖業の変化の説明が求められた。問5では養殖業の改良に関して、養殖池で mangrove 林の植林を行う便益について、指定語句を用いて問われた。 問1や問3、問4は教科書や資料集などに掲載されることの多い基本的な図であり、図とその説明に関する知識をいかして解答したい。問5は問題文にある「アグロフォレストリー」や指定語句をヒントにして、自然環境や経済面などの論点を構成しよう。 | 標準 |

地歴公民 (地理総合・地理探究)

名古屋大学 文学部、情報学部 (人間・社会情報学科) (前期) 2 / 2

| | | | | |
|---|----------------|----|---|----|
| Ⅲ | 選択 記述 論述 | 都市 | 問1では、世界の国・地域ごとの都市人口比率(都市化率)と人口100万人以上の都市を示した図をもとに、大都市の密度と都市化率を指標とした四つの類型における分布の特徴とその背景の説明が求められた。問2では日本の人口上位100都市の分布図をもとに、日本の人口分布の変化の説明が問われた。問3では愛知県春日井市を例に、ニュータウンの人口構成上の特徴や変化、その要因が問われた。各問いとも、図の読み取りで部分点を確保できるので、背景や要因の説明がわからなかったとしても、図の指摘は確実にやりたい。 | 標準 |
|---|----------------|----|---|----|

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

自然、社会、産業などの重要テーマについて、教科書レベルの知識をもとに分布図や統計表を読み取らせて論述させる問題が中心である。そのため、地理用語や地名とその地図上の位置などの地理の基本的な知識に加え、自然は成因から、社会・産業は背景から説明できるような地理的見方・考え方を身につける必要がある。教科書をよく読みこなし、地理用語や地理的事象を100～200字程度の文章で説明する練習を繰り返し行うことが効果的である。描図問題については、グラフの作成や地図への記入などのほか、白地図や地形図の作成なども出題され多彩であるので、地図帳をよく見ておくとともに過去問の研究もしておくことよい。地形図の読図は、過去問を見て傾向を把握し、対策を行っておきたい。時事的な話題も出題されることがあるので、新聞やテレビのニュース特集などを見て、世界で起こっている出来事や問題などに興味・関心を持っておこう。